

独占医療系学部4大模試難易度 / 2010年ご当地流行大賞

サンデー毎日

大正11年3月31日第三種郵便物認可
2010年12月12日(毎日曜日)発行
第89巻第54号 通巻5023号

12.12号

定価350円

ととのいきました大増税
もつてない人の家計仕分け術

欲情する声萎える声

海老蔵の六本木「荒事

うさぎとマッコ大放談
「整形とテブ」

北朝鮮はこう動く
米韓合同演習後のXデー

仙谷外し「クリスマス改造」

オザチル再起動

よみがえる小沢一郎

龍馬伝、ゲゲゲ、ゆるキャラ、パワースポット、食べる調味料、B級グルメと2010年はご当地発ニュースに事欠かなかった。本誌が選んだ47都道府県の流行大賞を発表しよう。

2010年ご当地流行大賞

47都道府県



(上から時計回り) 伊達武将隊、駒野友一(左)、戦国IBA SARAクッキー

「ご当地流行大賞」一覧は140〜141ページの日本地図を見ていただくとして、まず食べ物系から紹介する。

●食べ物

「しつとりとした軟らかさとコク。やわらかな新食感を実現しました」(石屋製菓)というのは、北海道の「白いパウムTSUMUGI」。おなじみ「白い恋人」のホワイトチョコプレートが丹念に練りこまれた白いパウムクーヘン。1カ月で約10万個売れた月もあった。

生産が追いつかないのは、山形県庄内町の「ハナブサ醤油」が製造する「食べる醤油」。しょうゆ製造過程で作られるもろみで江戸時代からあります。「食べるラー油」ブームを受けて今年爆発的に人気が出ました(「ハナブサ醤油」)。食べる調味料では、島根県の通販会社「吉田ふるさと村」の「青とうがらし&ニンニク」、福岡の「椒房庵」が考案した「生七味」に全国から取り寄せ注文が殺到した。

評会の結果が発表され、福島県産酒20銘柄が金賞を受賞した。4年ぶりに金賞受賞数1位を奪還。群馬の「かりんとうまんじゅう」は、黒糖を練りこんだ生地でこしあんを包み、カリッと揚げる。「固さがウリ。1日3000個売れます」(御菓子司おのみや)。お隣、埼玉県加須市の肉味噌うどんは、11月21日に約7万人を集めて開催された「第7回埼玉B級ご当地グルメ王決定戦」で頂点に立った。ひき肉味噌と温泉卵がのっている。

パンやケーキ、ラーメンを販売する店舗が増加中(新潟県広報グループの佐藤政彦さん)。石川では能登産にこだわった「能登丼」が人気。「奥能登産の米に地場の魚介類、肉、野菜がのつてます」(石川県東京事務所の斎藤博さん)。東京・六本木ヒルズの屋上庭園では毎年、米が栽培されている。今年選ばれたのは、岐阜県下呂市のブランド米「龍の瞳」。通常の銘柄より大粒で甘みが強いのが特長という。

六本木ヒルズ屋上で岐阜の米

真田幸村ゆかりの地、長野県上田市とゲーム「戦国BASARA式」とのタイアップ商品「信州真田幸村合戦記りんごクッキー」はファンから広まった。

大阪の新名物は「面白い恋人」だ。みたらし味のクリームをサンドしたゴトフル。ならばグランド花月のお土産店など大阪近郊の直売のみにかわらず7月の発売以降8万個が売れた。9月の「B-1グランプリ」で2位ひるぜん焼きそ

食べる醤油、かりんとうまんじゅう、品川、宿場町の復活、禁煙条例で居酒屋戦争、「B級グルメ王国」襲名、カツオ人間、パワースポットの宝庫…どこでしよう？

ば、4位津山ホルモンうどんが選ばれた岡山は「B級グルメ王国」。県観光連盟は「B級グルメラリー」を12月末まで展開。デミカツ丼、たまごかけごはん、カキオコを加えた5種の中から「おやかまB級グルメマスター」の称号が与えられる。山口県岩国市が売り出したのは、特産品レンコンを使った「岩国海軍飛行艇カレー」だ。

をくるんだ「にくまき」がヒットした。口蹄疫で多大な損害を受けたが、考案した。

追っかけもいる伊達武将隊

宮崎では豚肉でおにぎり

岩手県観光協会が初めて作ったキャラクターが「わんこぎょうだい」。メインキャラの「そばつち」携帯ストラップは4月から5000個を売った。

宮城県・仙台城跡では8月、おもてなし集団「伊達



(右上から時計回り) 阿蘇神社、バリイさん、こなき籠の里、ゆめ子、イ・ピョンホンルーム、白いパウム

た「元祖にくまき本舗」は義援金を募って地元を応援した。武將隊」が結成された。伊達政宗を中心とする8人の伊達の英傑が演舞を披露する。「若い女性の追っかけもいるくらい。イベントに引っぱりだこですが、必ず1人は仙台城跡に残っておもてなしします」(仙台市観光課金田芳典さん)

同県観光局の高安裕之主任は「全国でも有数の工場地帯。幻想的な宇宙都市のような光景が楽しめます」。愛媛のキャラクター「バリイさん」は、今治名産のタオル地の腹巻ををし、今治弁を話す。生みの親である第一印刷の宮田麻子さんは、「バリイさんが今治弁を覚えてくれる来年度のカレンダーは発売しました」。高知県民に親しまれているのは「カツオ人間」。身を切り落としたカツオの頭に、胴体は人間でまわし姿。

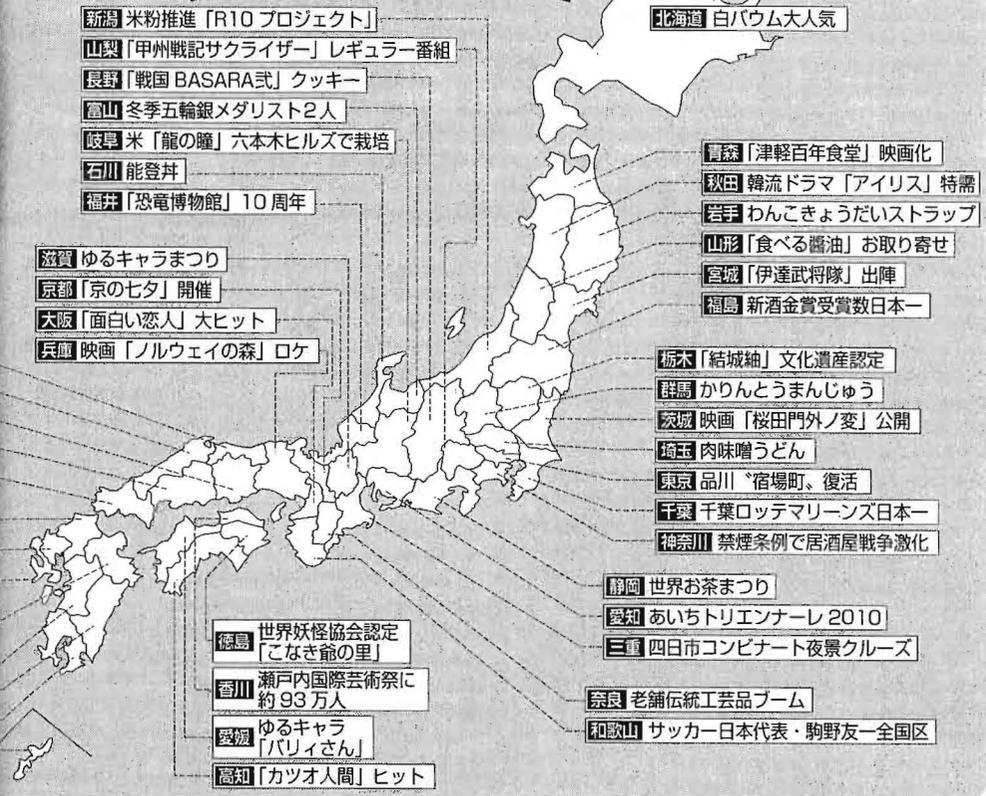
栃木県の「結城紬」は、ユネスコ政府間委員会で無形文化遺産に追加登録された。198日間で入場者数約363万人に上った奈良の「平城遷都1300年祭」では、地元老舗伝統工芸シヨップ「中川政七商店」が作るコラボグッズが人気を博した。「選都記念限定の花ふきん」は2倍売れています(同店担当者)

愛媛のキャラクター「バリイさん」は、今治名産のタオル地の腹巻ををし、今治弁を話す。生みの親である第一印刷の宮田麻子さんは、「バリイさんが今治弁を覚えてくれる来年度のカレンダーは発売しました」。高知県民に親しまれているのは「カツオ人間」。身を切り落としたカツオの頭に、胴体は人間でまわし姿。

三重県の「四日市コンビナート夜景クルーズ」には「工場萌え」の男女が殺到。

同県観光局の高安裕之主任は「全国でも有数の工場地帯。幻想的な宇宙都市のような光景が楽しめます」。愛媛のキャラクター「バリイさん」は、今治名産のタオル地の腹巻ををし、今治弁を話す。生みの親である第一印刷の宮田麻子さんは、「バリイさんが今治弁を覚えてくれる来年度のカレンダーは発売しました」。高知県民に親しまれているのは「カツオ人間」。身を切り落としたカツオの頭に、胴体は人間でまわし姿。

2010年ご当地流行大賞



(右上から時計回り)
マリーンズ優勝パレード、ゆるキャラまつり、わんこきょうだいのそば、結城紬、津山ホルモンの森

桜井が北山製菓の作った特殊スーツを着るとサクライザーに変身する。12月11日公開の映画「ノルウェイの森」のロケが行われたのは、年間6万人ほどが訪れるスキの大群生地である名倉庫神河町低峰高原だ。

NHK連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」の影響は大きかった。鳥取の「水木しげるロード」には300万人の観光客が押し寄せ



- 鳥取 水木しげるロード大混雑
- 島根 青とうがらし&ニンク
- 岡山 「B級グルメ王国」襲名
- 広島 県知事体育休取得
- 山口 岩国海軍飛行艇カレー

- 福岡 生七味
- 佐賀 大隈重信の1000円銀貨発売
- 長崎 「龍馬伝」で観光客増
- 大分 フタユビナマケモノ「ゆめ子」の遊泳姿
- 熊本 パワースポットの宝庫
- 宮崎 「にくまき」人気沸騰
- 鹿児島 火山灰の缶詰「ハイ!どうぞ!!!」
- 沖縄 修学旅行生急増

た。鬼太郎やねずみ男などの形をしたパン5種類が入る「鬼太郎セット」は、「1日平均1000セット売れます」(神戸ベーカーリー)の坂本全代表取締役。「ゲゲゲ効果で好評です」と徳島県東京事務所秋川正年次長が言うのは、三好市山城町の大歩危妖怪村。「こなき爺の里」とも呼ばれる世界妖怪協会の妖怪遺産に認定

されている。大河ドラマ「龍馬伝」に沸いたのは長崎。開館以来、長崎奉行所・龍馬伝館は約37万人、長崎まちなか龍馬館約15万人、亀山社中記念館約30万人、ハウステンボス龍馬伝館約10万人と大盛況。お土産に、龍馬のメッセージがプリントされたトレットペーパー「龍馬からの恋文」が人気だ。

良くも悪くも沖縄への関心

イベント ●「千葉ドリーム」あきらめないでやればできることを県民に示してくれた。森田健作・千葉県知事が

興奮気味に話すのは、千葉ロッテマリーンズのプロ野球日本一。公式戦3位からクライマックスシリーズを勝ち上がり日本シリーズを

は珍しい」と、大分で話題になったのが水族館「うみたまご」にいるフタユビナマケモノの「ゆめ子」。癒やされた人は多い。

佐賀県は、地元出身の大隈重信と名産・有田焼をデザインした地方自治法施行60年記念1000円銀貨を販売。鹿児島県垂水市は桜島の火山灰を缶詰にした。その名も降灰体感缶詰「ハイ!どうぞ!!」。市役所の役所の屋上に積もった灰が1缶1000円。限定10000個が即完売した。

●映画・ドラマで町おこし「普段は満席になるなんてことがない小さな大衆食堂まで観光客でいっぱいでした」と青森県観光連盟の斎藤直樹さんが顔をほころばせるのは、一本の映画。津軽の大衆食堂文化をテーマにした「津軽百年食堂」の映画化が決定し、撮影が青森県内全域で行われたのだ。

韓流ドラマ「アイリス」の舞台になった秋田。主演したイ・ピョンホンがロケ

制したのは史上初。「多くの百貨店やスーパーが優勝セールを実施。日本シリーズは全試合満員。パレードの人出も含めると経済効果は1カ月で100億円超(ちばぎん総合研究所の観音寺拓也さん)2月の富山を熱くしたのは、バンクイーバー冬季五輪女子スピードスケートの田畑真紀、穂積雅子両選手の銀メダル。これが契機で、「県民スポーツ応援団」が7月に発足した。「ダイイチ株式会社という従業員40人の会社のバックアップで、世界の大舞台で活躍できた。小さな県でもオリンピック選手を輩出するため、募金を募って応援します」(同県体育協会)

南アサッカーW杯に日本代表として出場したDF駒野友一選手は和歌山出身。「パラグアイ戦でPKを外した時は応援会場が静まり返りましたが、知名度は全国区になりプラスに捉えています」(和歌山県広報課

で滞在中に食べたメニュー、ホワイトグレイプフルーツジュースやベニマスのカルパッチョなどを「イ・ピョンホンスペシャル」として提供するの「田沢湖ホテル イスキア」。宿泊した部屋も「イ・ピョンホルーム」として残されており、宿泊者は見学できる。「お客さまは前年比20〜30%増。韓国からは家族連れ、国内からは年配の女性の方が多いですね」(若女将・佐藤千香さん)

茨城では観光誘致につながる映画を地元主導で作りたいという願いがかない、「桜田門外ノ変」(10月16日公開)ができた。150年目の今年、烈士たちの故郷水戸を中心にロケが敢行され、オープンセットや撮影日記が「水戸ひたち観光圏」で公開されている。

山梨では、07年から活動していた忍者ショーが「甲州戦記サクライザー」として山梨放送でレギュラー放送された。冴えない公務員

の西畑和彦さん)他のイベントを北から見てもみよう。福井の「県立恐竜博物館」は開館10周年を迎えた。「事業仕分けでやり玉に挙がるハコモノは多いですが、うちは年間約40万人の来場者数を誇ります」(福井県東京事務所の古田秀雄主任)。10周年に合わせて大幅リニューアルし、2億4990万円でカマサウルスの化石を購入した。お茶の産地28カ国が参加した「世界お茶まつり」が28日からの4日間で約8万9000人が詰め掛けた。愛知・名古屋市では8月21日から約2カ月間開催された国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2010」。現代美術作品の展示や舞台芸術の公演に、国内外から50万〜60万人が訪れた。滋賀で10月23、24日に開催された「ゆるキャラまつり」には全国から1800キ

ファンが結集。今年は人気ランキングを決める投票があり、地元彦根市の「ひこにゃん」が初代グランプリに輝いた。「京の七夕」は初開催。8月6〜15日まで京都市内の商店街や企業・団体、寺院や神社がライトアップされた。7月19日から10月31日まで開催された香川の現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」には約93万人が殺到した。

●ニュースなまち

10月21日、羽田空港の国際線旅客ターミナルがオープンした東京。お藤元・北品川は東海道最初の宿場「品川宿」があつた場所でもある。「ゲストハウス品川宿」のオーナー、渡邊崇志さんは地域の活性化を図る。「最近羽田空港自体を観光地としてご案内することもあります」

神奈川県は4月1日から受動喫煙防止条例を施行。JR町田駅南口は神奈川と東京の都県境にある。神奈川県側の居酒屋経営者は、「来

年4月から違反すると罰則がある。分煙施設を作るには多大な出費が必要だが、全面禁煙にすると東京に客が流れる。価格やメニューなどで個性を出さないと勝ち目がない」と話す。

イクメン首長が誕生したのは広島。湯崎英彦知事が10月25日から育児休暇を取得。「男性が取得しづらい環境を改善したい」とのコメントを発表した。

基地問題に揺れる沖縄。同県への観光客は約4%増加。修学旅行も20校ほど増えたという。沖縄県東京事務所所長松山満次郎は話す。「良くも悪くも沖縄への関心が高まった結果でしょう。興南高校の甲子園春夏連覇や「組踊」がユネスコ世界無形文化遺産に登録されたりと明るいニュースもたくさんあります。来年は沖縄発のグッドニュースにもっと注目が集まっています」と思っています。

小川直樹
直木詩帆

読者から

◆「佐高信の政経外科II 10月10日号」市川房枝さんが石原莞爾を高く評価していたとは驚いた。満州事変が天皇の統帥権と欧米協調の政府方針に反するクーデターだったことを知らなかったのですね。満州事変は石原らを首謀者とする関東軍の暴走で済まされているが、満州を植民地化しようとする勢力が存在し、石原は実行犯に過ぎなかったのではないかと。日本政府はアジアの国に対し「おわびと反省」を繰り返すが、事実の解明と責任者の処罰があつて初めて意味を持つ。来年は満州事変勃発80年。全容の解明を望む。(フィリピン・安藤純一・66歳・無職)

◆「日本でがんばる世界一企業II 11月28日号」この記事を現在就活中の学生、特に4年生にぜひ読んでほしい

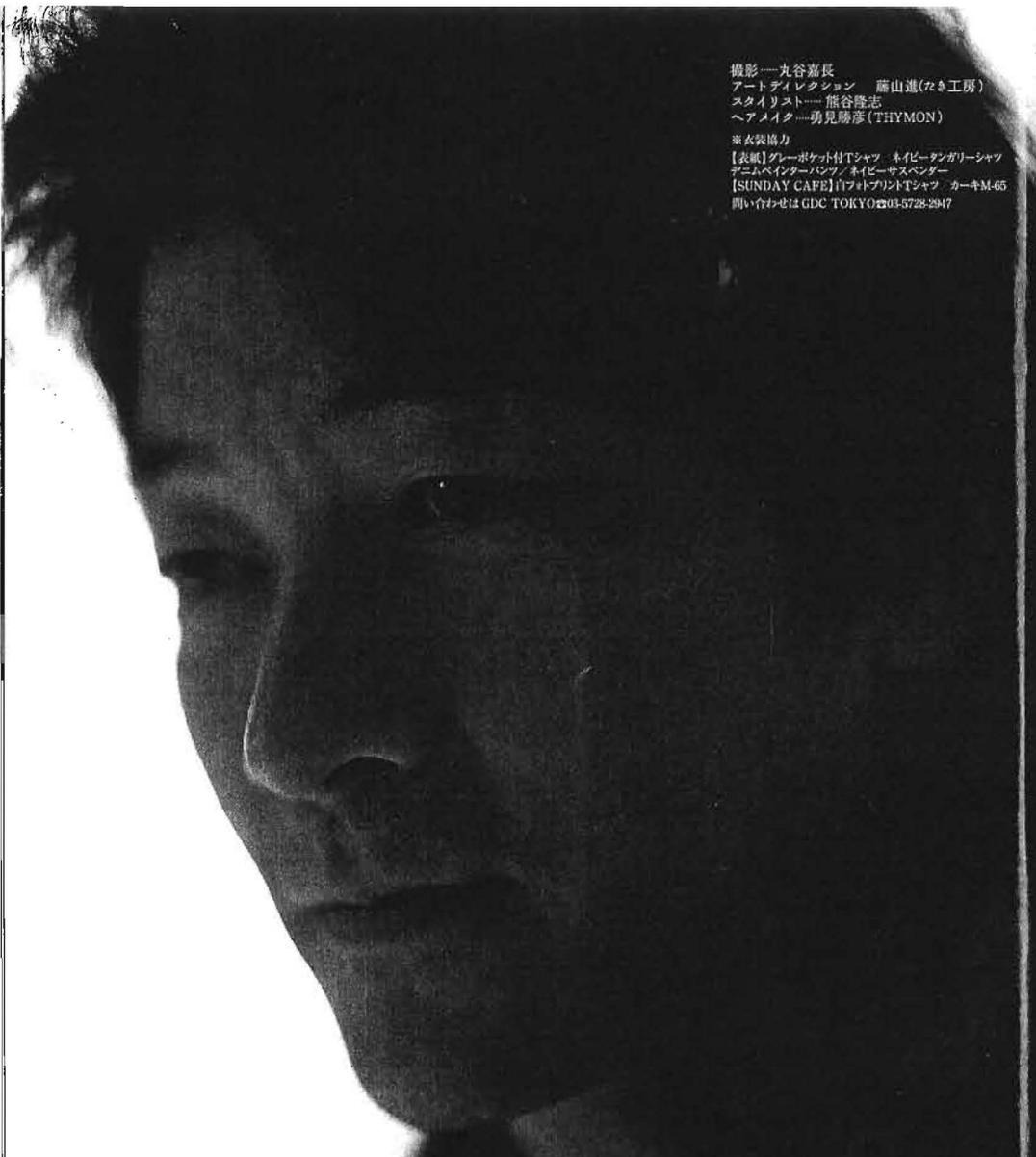
編集長後記

定年退職後、何をしたいかわからない。妻に「メシはまだか」とふんぞり返つたり、重箱の隅をつつくように家族に注文をつける。こんな男性を「孤舟族」という。渡辺淳一さんの小説「孤舟」に由来する。今の自民党は「孤舟族」に似ている。北朝鮮による砲撃事件をめぐる国会の集中審議。菅政権の初動態勢の遅れを問いつめるさまは、はつきり言いつつこ過ぎ。与党時代の自らの経験・反省を踏まえどのような体制を作るべきなのか、日本はどう対応すべきかという建設的質疑はほぼなし。民主党は与党に慣れていないが、与党から野党に転じてどう振る舞っていいのかわからず、批判に明け暮れる自民党はまさに「孤舟族」脱する策の一つは、「人の役に立っている」と感じることを。 (山田道子)

◆「だから私は死が怖くないII 12月5日号」8人の入生の先達の死生観はそれぞれ皆さばさばしていて、物事に固執していない。先のことより今を楽しく生きることに喜びを見いだしている生き方は見事だ。弱気な私ですが、勇気を与えられ元気になっていくのを実感した。(東京都・芦沢裕子・63歳・主婦)

控室お待ちしております
郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を明記。〒0100-0000 (住所不詳) サラダ1毎日編集部「読者から」係へ。採用には関係カードを差します。記事についての感想、提言、編集部への提案、情報提供など歓迎します。

撮影—丸谷嘉良
アートディレクション—藤山進(たき工房)
スタイリスト—熊谷隆志
ヘアメイク—勇見勝彦 (THYMON)
※衣装協力
【表紙】アレーボケット付Tシャツ ネイビータンガリーシャツ
デニムベインターパンツ/ネイビーサスペンダー
【SUNDAY CAFE】白アトプリントシャツ カラーM-65
問い合わせは GDC TOKYO ☎03-5728-2947



SUNDAY CAFE

今週の表紙●あさの・ただのぶ
浅野忠信
1973年11月27日、神奈川県生まれ。12月4日公開の映画「酔いがさめたら、うちに帰ろう。」に主演。

●家族の在り方が映画のテーマ、アルコール依存症とそれが引き起こすDVなど内容はシリアスですね。あつてはいいけど、理解できるところはある。男として、壁にぶち当たった時期。自分の生きざまと役を照らし合わせ、どう乗り越えていくか考えながら演じた。
●役者デビュー20周年、振り返ってどんな時間でしたか？
濃くて長かった！ これからも力まず、自然体でいたい。音楽をやりたい。役者になることに抵抗していた僕の背中を押し、応援してくれた亡き祖母に感謝している。
●祖父はネーティブ・アメリカン。自分のルーツ探しを高校時代から続けていたと聞きました。
祖父の眠っている場所がようやくわかり、今年墓参りができました。長年の夢が実現した瞬間だった。家族は僕にとっすべ。祖父の血を引いていると誇りを持っています。

本誌 佐田真由